

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業 （令和3年度～令和7年度）
研究開発課題名	イメージング質量分析による動態評価技術の新規モダリティ薬剤への適応展開
代表機関名	浜松医科大学
研究開発代表者名	瀬藤 光利

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、当初の提案計画を順調に進捗させ、マウスでの全身イメージング手法や環状ペプチドでの中分子イメージングなどを技術的に進展させており評価できる。また、課題間連携等を通して、様々なシーズに対して、脳内分布の空間的特徴及び腫瘍組織や正常組織における分布特性の比較解析等、必要な薬物動態解析データを提供し、成果の最大化に貢献した。

今後は、本研究成果をさらに発展させ、PET 技術等の他の薬物動態技術に対する優位性を明らかにすることで、本技術の学術的・社会的価値を一層高めることを望む。あわせて、実用化・社会実装に向けた取り組みを推進し、共同研究や企業技術導出等、本技術の幅広い活用へとつながることを期待する。

以上